

ノイズ・EMC対策技術講座【その2】

～ノイズの物理と設計段階からの対策技術～

LIVE配信
アーカイブ配信

7日間視聴可能

- ★日時：2026年4月21日（火）13:00～16:00 ★受講料：1名 38,500円（消費税込）
 同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名33,000円
 4/9開催の【その1】をご受講の方は、1名：33,000円
- ★会場：WEB受講のみ（Zoomシステム）
 ※LIVE配信／アーカイブ配信（7日間視聴可能） ★受講資料：PDF資料（受講料に含む）

ノイズを物理現象として理解する視点を軸に、設計段階から実装できる対策技術を体系的に解説します。回路・基板・筐体・ケーブル設計の考え方から、磁性コアやフィルタなど対策部品の適用法まで、数式に頼らず本質理解が可能です！！

【講師の言葉】

電子機器開発の終盤で行われるEMC試験の対策は、設計段階から考慮しておくのが理想、とされています。しかし、「目的とする信号」が「行うべき処理」されるように考える回路設計とは違い、ノイズの問題は「モノを作ってみないと顕在化しない」のが殆どなため、設計段階では、ある程度起こる問題を予測して対策を入れなければならない難しさがあります。

また、ノイズも電気現象なので、どうしても物理的な現象として捉える必要があります。逆に、これができれば、対策を考えやすくなります。そこで、本セミナーでは、極力数式などを使わずにノイズを物理的な現象として捉え、対策（回路設計や対策部品の適用法など）を「何故その対策を取るのか」考えながら進めていきます。

なお、EMC試験とその内容については、本講座の前4/9に開催される「ノイズ・EMC対策技術講座 その1-ノイズの基礎と代表的なEMC試験の試験法-」でご説明しますので、こちらも併せて受講されることをお勧めします。

【受講形式】WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。

【予備知識】・電気回路の基礎知識（オームの法則等の基本法則）
 ・回路の基礎知識（抵抗やコンデンサ、コイル等の名称と基本的な働き）

上記の何れか、あればベターですが、上記以外に電磁気学や回路解析のご経験・履修（必須ではありません）

【受講対象】電子機器の設計者、回路設計者、基板設計者

【習得知識】1) ノイズを電気的な物理現象としてとらえる考え方
 2) 設計段階でのノイズ対策技術
 3) 各種のノイズ対策部品とその適材適所の設計・対策法

【講師】 倉西技術士事務所 所長 倉西 英明 先生 工学修士・技術士（電気電子）

1 ノイズ対策に必要な物理

- 1.1 物理の話に入る前に
- 1.2 ノイズと物理法則
- 1.3 交流とスペクトル
- 1.4 見えないLとC
- 1.5 共振現象
- 1.6 電磁波の発生とアンテナ
- 1.7 伝送線路
- 1.8 コモンモードとノーマルモード

2 ノイズ対策の技術

- 2.1 ノイズ問題の技術論
 - 2.1.1 発生源を抑える
 - 2.1.2 伝達経路を断つ
 - 2.1.3 アンテナを作らない
 - 2.1.4 再現性を確保する手法
- 2.2 設計時の対策技術
 - 2.2.1 回路・基板
 - 2.2.2 機内・機外ケーブル
 - 2.2.3 フレーム・筐体
- 2.3 設計後の対策技術
 - 2.3.1 磁性コア類
 - 2.3.2 フィルタ
 - 2.3.3 シールド・GND強化部材
 - 2.3.4 電磁波吸収体

質疑・応答

◆セミナーお申込要領

- ・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。
- ・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

◆申込書：2026年4月21日：セミナー
 会社名： 部署名：
 住所：
 TEL： FAX：
 氏名：
 Email：

◆申込先



TH企画セミナーセンター



株式会社TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL: 03-6435-1138 FAX: 03-6435-3685

Email: th@thplan.comURL: <https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画

サイト内
キーワード検索0421
(開催日)